

記載例4 預入額変更

例: 財形年金の場合。

【誤りの訂正方法】
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

※日付欄に元号ない様式(平成30年度作成様式)では、「平成」等元号を手書きで記載してください。

「平成」と記載のある従前の様式についてはそのままお使いいただけます。

固定電話がない場合は、携帯番号を記入する。

届出日を記入する。

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。

※職員番号を誤ると、別の人から控除されてしまいます!

引き落としをしない欄にも、必ず「0」を記入し、変更前、変更後とも空欄のないよう記入する。

※空欄では、「変更がない」のか「控除しない」のか判断できず、トラブルの元となるため。

※万一未記入の場合には、0円として処理します。

預入額の変更のみの場合は、記入不要。

(別記様式第3号)

群馬県教職員財産形成 **一般貯蓄** 変更届(預入額等) **教** (金融機関用)
 年金貯蓄 住宅貯蓄 (いずれかを○で囲む)

御中 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

フリガナ マエバシオオテマチ 連絡先電話番号
 住所 (〒371-8570) 前橋市大手町1-1-1 自宅(027) 223-1111
 勤務先(027) 〇〇-〇〇〇〇

氏名 カナ アカキ タロウ 届出印 赤城 生年月日 昭和(2) 〇〇1028
 漢字 赤城 太郎 平成 3

職員番号 1 2 3 4 5 6 所属コード 7 7 7 7 7 所属名 〇〇小学校 満 〇〇歳 性別 (男)・女

契約取扱金融機関 〇〇〇 銀行・信用金庫・労働金庫 〇〇〇 (支店) 金融機関コード 1 2 3 4 支店支社コード 5 6 7

貯蓄の種類 口座番号又は契約

1. 控除預入額の変更

1. 一般財形		2. 財形年金		3. 財形住宅	
変更前	毎月 千円	変更前	毎月 10 千円	変更前	毎月 千円
期末勤労手当	6月 千円	期末勤労手当	6月 50 千円	期末勤労手当	6月 千円
12月 千円		12月 千円		12月 千円	
変更後	毎月 千円	変更後	毎月 20 千円	変更後	毎月 千円
期末勤労手当	6月 千円	期末勤労手当	6月 0 千円	期末勤労手当	6月 千円
12月 千円		12月 千円		12月 千円	

2. 控除、預入等の変更

1. 一般財形		2. 財形年金		3. 財形住宅	
変更内容	1. 中断 2. 再開 3. 解約	変更内容	1. 中断 2. 再開 3. 解約	変更内容	1. 中断 2. 再開 3. 解約

◎解約金の振込指定口座(但し、生・損保のみ)

銀行	支店	口座番号
----	----	------

3. 非課税限度額の変更(財形年金・財形住宅の場合の変更時に記入してください。)

変更前	非課税限度額	0 千円	変更後	非課税限度額	0 千円	任命	2
-----	--------	------	-----	--------	------	----	---

4. 事業主(賞金の支払者)・店舗の変更

変更前		変更後	
店舗	所在地	店舗	所在地
勤務先	名称	勤務先	名称
賞金の支払者	所在地	賞金の支払者	所在地
	名称		名称

財産形成非課税 年金貯蓄 限度額変更・異動 申告書

税務署長 殿 年月日

フリガナ ※個人番号 届出印

氏名

住所

※限度額変更・廃止の場合は個人番号の記入は不要です。

次のとおり申告します。

変更事項	変更前	変更後	異動年月日
最高限度額	〇 〇 〇 〇 〇 円	〇 〇 〇 〇 〇 円	
店舗			
勤務先	所在地	所在地	
	名称	名称	
賞金の支	所在地	所在地	
の支	名称	名称	
	法人番号	7000020100005	
財産形成貯蓄の受入機関の営業所等	所在地		
	名称		

※欄に記載した事項は 勤務先の長の印事実と相違ありません。

年月日

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4 及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

変更1 (金融機関用) 勤務先の長の印(所属長確認印) 〇〇〇 小学校長の印

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください。 4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです。

記載例5 非課税限度額変更

例：財形年金の場合。

【誤りの訂正方法】
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

※日付欄に元号ない様式(平成30年度作成様式)では、「平成」等元号を手書きで記載してください。

「平成」と記載のある従前の様式についてはそのままお使いいただけます。

固定電話がない場合は、携帯番号を記入する。

届出日を記入する。

(別記様式第3号)

群馬県教職員財産形成 **一般貯蓄** 変更届(預入額等) **教** (金融機関用: 勤務先の長の印(所属長確認印))

御中 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

フリガナ マエバシシオオテマチ 連絡先電話番号
 住所 (〒371-8570) 前橋市大手町1-1-1 自宅 (027) 223-1111
 勤務先 (027) 〇〇〇-〇〇〇〇

氏名 カナ アカキ タロウ 届出印 赤城
 漢字 赤城 太郎 生年月日 昭和(2) 〇〇 1 0 2 8
 平成 3

職員番号 1 2 3 4 5 6 所属コード 7 7 7 7 7 所属名 〇〇小学校 満 〇〇 歳 性別 (男)・女

契約取扱金融機関 銀行・信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行 支店 金融機関コード 1 2 3 4 支店支社コード 5 6 7

貯蓄の種類 口座番号又は契約

1. 控除預入額の変更

1. 一般財形				2. 財形年金				3. 財形住宅			
変更前	毎月		千円	変更前	毎月		千円	変更前	毎月		千円
	期末	6月	千円		期末	6月	千円		期末	6月	千円
	勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円
変更後	毎月		千円	変更後	毎月		千円	変更後	毎月		千円
	期末	6月	千円		期末	6月	千円		期末	6月	千円
	勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円

2. 控除、預入等の変更

1. 一般財形			2. 財形年金			3. 財形住宅					
変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約

◎解約金の振込指定口座(但し、生・損保のみ)

銀行	支店	口座番号
----	----	------

3. 非課税限度額の変更(財形年金・財形住宅の場合の変更時に記入してください。)

変更前	非課税限度額	1 5 0 0 千円	変更後	非課税限度額	3 5 0 0 千円	任命	2
-----	--------	------------	-----	--------	------------	----	---

4. 事業主(賞金の支払者)・店舗の変更

変更前		変更後	
店舗		店舗	
所在地		所在地	
勤務先		勤務先	
名称		名称	
賞金の支払者		賞金の支払者	
所在地		所在地	
名称		名称	

財産形成非課税(年金・住宅)貯蓄(限度額変更・異動・勤務先異動・廃止)申告書

税務署長 殿 平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

フリガナ アカキ タロウ ※個人番号 届出印 赤城
 氏名 赤城 太郎
 住所 前橋市大手町1-1-1

貯蓄の種類 預貯金 合同運用信託 生命保険の保険料 損害保険の保険料

※限度額変更・廃止の場合は個人番号の記入は不要です。

次のとおり申告します。

変更事項	変更前	変更後	異動年月日
最高限度額	1 5 0 0 0 0 0 0 円	3 5 0 0 0 0 0 0 円	
	※すでに非課税扱いの申告をしている最高限度額の合計額		
	2 0 0 0 0 0 0 0		

※欄：年金の変更届であれば、住宅で申告している非課税限度額を記入

店舗 所在地 名称
 勤務先 所在地 名称
 賞金の支 所在地 名称

財産形成貯蓄の受入機関の営業所等 所在地 名称

法人番号 7000020100005

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。 勤務先の長の印

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇小学校長の印

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

届出日を記入する。

変更後の(希望する)非課税限度額を記入する。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

※欄に記入した場合、所属長は内容を確認のうえ、1. 2. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。押印日を記入する。

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。
 ※職員番号を誤ると、別の人から控除されてしまいます!

変更前の(現在申告している)非課税限度額を記入。

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください。4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです。

すでに申告している非課税限度額と合わせて550万円を超えることはできません。

記載例6 解約・中断・再開・廃止 例：財形年金、解約の場合。

【誤りの訂正方法】
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

※日付欄に元号ない様式(平成30年度作成様式)では、「平成」等元号を手書きで記載してください。

「平成」と記載のある従前の様式についてはそのままお使いいただけます。

届出日を記入する。 金融機関用であることを確認

(別記様式第3号)
群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 変更届(預入額等)
 住宅貯蓄 (いずれかを○で囲む)
教

変更1 (金融機関用) 勤務先の長の印(所属長確認印)
〇〇〇 小学校

御中 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
 連絡先電話番号
 住所 (〒 -) 自宅 () 勤務先 ()
 氏名 カナ 漢字 届出印 生年月日 昭和 2 平成 3
 職員番号 所属コード 所属名 満 歳 性 別 男・女
 契約取扱 金融機関 銀行・信用金庫・労働金庫 支店 金融機関 支店支社 支店支社
 信用組合・保険会社・信託銀行 コード コード
 貯蓄の種類 口座番号又は契約

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。

※職員番号を誤ると、別の人から控除されてしまいます！

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

1. 控除預入額の変更

1. 一般財形		2. 財形年金		3. 財形住宅	
変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
毎月		毎月		毎月	
期末勤勉手当		期末勤勉手当		期末勤勉手当	
6月		6月		6月	
12月		12月		12月	
千円		千円		千円	

2. 控除、預入等の変更

1. 一般財形	2. 財形年金	3. 財形住宅
変更内容 1. 中断 2. 再開 3. 解約	変更内容 1. 中断 2. 再開 (3) 解約	変更内容 1. 中断 2. 再開 3. 解約

◎解約金の振込指定口座(但し、生・損保のみ)

銀行	支店	口座番号
----	----	------

3. 非課税限度額の変更 (財形年金・財形住宅の場合の変更時に記入してください。)

変更前	非課税限度額	0	千円	変更後	非課税限度額	0	千円	任命	2
-----	--------	---	----	-----	--------	---	----	----	---

4. 専業主(賞金の支払者)・店舗の変更

変更前		変更後	
店舗		店舗	
所在地		所在地	
勤務先		勤務先	
名称		名称	
賞金の支払者		賞金の支払者	
所在地		所在地	
名称		名称	

財産形成非課税 住宅貯蓄 限度額変更・異動 廃止 申告書

フリガナ アカギ タロウ 平成 年 月 日 届出印

氏名 赤城 太郎 届出印 赤城

住所 前橋市大手町1-1-1

※限度額変更・廃止の場合は個人番号の記入は不要です。

次のとおり申告します。

変更事項	変更前	変更後	異動年月日
最高限度額	35000000円	20000000円	
※すでに非課税扱いの申告をしている最高限度額の合計額			
店舗			
勤務先			
所在地			
名称			
賞金の支払者			
所在地			
名称			
法人番号	700020100005		

財産形成貯蓄の受入機関の営業所等

所在地	
名称	

※欄に記載した事項は、勤務先の長の印事実と相違ありません。

平成〇年〇月〇日 〇〇〇 小学校 長の印

変更後は0円なので何も記入しない。

所属長は内容を確認のうえ、1. 2. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

押印日を記入する

変更前の(現在申告している)非課税限度額を記入。

※一般財形は記入不要。

※中断、再開は記入不要。

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください。4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです。

記載例7 転入

例：財形年金の場合

【誤りの訂正方法】
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

※財形年金・財形住宅の場合は、下の申告書欄に個人番号を記入してください！

※日付欄に元号ない様式(平成30年度作成様式)では、「平成」等元号を手書きで記載してください。

「平成」と記載のある従前の様式についてはそのままお使いいただけます。

固定電話がない場合は、携帯番号を記入する。

「転入」と記入する。

届出日を記入する。

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。
 ※職員番号を誤ると、別の年から控除されてしまいます！

非課税で貯蓄している財形年金・財形住宅の場合は、必ず記入する。

変更前(異動前)と、変更後(異動後)の所属名・所在地、給与の支払者名・所在地を記入。

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

届出日を記入する。
 届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

個人番号を記入する。

以前は押印「必要」と案内していましたが、ここは「※欄」に記載した場合のみ押印すればよいため、転入の場合は押印「不要」です。

(別記様式第3号)

群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 住宅貯蓄 変更届(預入額等)

(いずれかを○で囲む)

御中 平成 ○○年○○月○○日

フリガナ **マエバシシオオテマチ** 連絡先電話番号

住所 (〒371-8570) **前橋市大手町1-1-1** 自宅 (027) 223-1111
 勤務先 (027) 000-0000

氏名 **アカキ タロウ** 届出印 **赤城** 生年月日 昭和(2) 平成(3) 001028

職員番号 **123456** 所属コード **77777** 所属名 **〇〇小学校** 満〇〇歳 性別(男)・女

契約取扱金融機関 **△△△** 銀行・信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行 支店 金融機関コード 1234 支店支社コード 567

貯蓄の種類 口座番号又は契約番号

変更1

(金融機関用)

勤務先の長の印
(所属長確認印)

〇〇〇
小学校
長の印

1. 控除預入額の変更

1. 一般財形				2. 財形年金				3. 財形住宅			
変更前	毎月	期末	千円	変更前	毎月	期末	千円	変更前	毎月	期末	千円
6月				6月				6月			
12月				12月				12月			
変更後	毎月	期末	千円	変更後	毎月	期末	千円	変更後	毎月	期末	千円
6月				6月				6月			
12月				12月				12月			

2. 控除、預入等の変更

1. 一般財形			2. 財形年金			3. 財形住宅					
変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約

◎解約金の振込指定口座(但し、生・損保のみ)

銀行	支店	口座番号
----	----	------

3. 非課税限度額の変更(財形年金・財形住宅の場合に変更時に記入してください。)

変更前	非課税限度額	0	千円	変更後	非課税限度額	0	千円	任命	2
-----	--------	---	----	-----	--------	---	----	----	---

4. 事業主(賞金の支払者)・店舗の変更

変更前		変更後	
店舗	所在地	店舗	所在地
勤務先	前橋市大手町2-12-1	勤務先	前橋市〇〇町123
賞金の支払	前橋市教育委員会	賞金の支払	前橋市立〇〇小学校
所在地	前橋市大手町2-12-1	所在地	前橋市大手町1-1-1
名称	前橋市教育委員会教育長	名称	群馬県教育委員会教育長

財産形成非課税(年金 貯蓄 限度額変更・異動 申告書)

税務署長 殿 平成 ○○年○○月○○日

フリガナ	アカキ タロウ	※個人番号	届出印
氏名	赤城 太郎	000000000000	赤城
住所	前橋市大手町1-1-1		

※限度額変更・廃止の場合は個人番号の記入は不要です。

次のとおり申告します。

変更事項	変更前	変更後	異動年月日
最高限度額	万円 0000円	万円 0000円	
店舗	※欄	※欄	
勤務先	所在地 前橋市大手町2-12-1 名称 前橋市教育委員会	所在地 前橋市〇〇町123 名称 前橋市立〇〇小学校	〇〇・4・1
賞金の支払者	所在地 前橋市大手町2-12-1 名称 前橋市教育委員会教育長	所在地 前橋市大手町1-1-1 名称 群馬県教育委員会教育長	〇〇・4・1
財産形成貯蓄の受入機関の営業所等	所在地	所在地	
名称			

法人番号 700020100005

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。

勤務先の長の印

年 月 日

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください(個人番号が記載された変更届を提出する場合、所定の送付状を添付してください。)
 4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです

記載例8 転入(再任用)

【誤りの訂正方法】
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

※日付欄に元号ない様式(平成30年度作成様式)では、「平成」等元号を手書きで記載してください。
 「平成」と記載のある従前の様式についてはそのままお使いいただけます。

固定電話がない場合は、携帯番号を記入する。

「転入(再任用)」と記入する。届出日を記入する。

(別記様式第3号)

群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 住宅貯蓄 変更届(預入額等)
 (いずれかを○で囲む)

教

変更1
 (金融機関用)
 勤務先の長の印
 (所属長確認印)
 ○○○
 小学校
 長の印

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

定年退職前の職員番号を枠外の空欄に記入する。

平成 ○○年 ○○月 ○○日

御中

フリガナ マエバシシオオテマチ 連絡先電話番号

住所 (〒371-8570) 前橋市大手町1-1-1 自宅(027)223-1111 勤務先(027)○○-○○○

氏名 カナ漢字 アカキ タロウ 届出印 赤城 生年月日 昭和(2) 平成 3 001028

職員番号 123456 所属コード 77777 所属名 ○○小学校 満○○歳 性別 (男)・女

契約取扱金融機関 △△△ 銀行・信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行 □□□ (支店) 金融機関コード 1234 支店支社コード 567

貯蓄の種類 □ 口座番号又は契約番号

旧職員番号: 200000

1. 控除預入額の変更

1. 一般財形				2. 財形年金				3. 財形住宅			
変更前	毎月	千円		変更前	毎月	千円		変更前	毎月	千円	
期末	6月	千円		期末	6月	千円		期末	6月	千円	
勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円	
変更後	毎月	千円		変更後	毎月	千円		変更後	毎月	千円	
期末	6月	千円		期末	6月	千円		期末	6月	千円	
勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円		勤勉	12月	千円	
手当	12月	千円		手当	12月	千円		手当	12月	千円	

2. 控除、預入等の変更

1. 一般財形			2. 財形年金			3. 財形住宅					
変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約	変更内容	1. 中断	2. 再開	3. 解約

◎解約金の振込指定口座(但し、生・損保のみ)

銀行	支店	口座番号
----	----	------

3. 非課税限度額の変更(財形年金・財形住宅の場合に変更時に記入してください。)

変更前	非課税限度額	0	千円	変更後	非課税限度額	0	千円	任命	2
-----	--------	---	----	-----	--------	---	----	----	---

4. 事業主(賞金の支払者)・店舗の変更

変更前		変更後	
店舗	所在地	店舗	所在地
勤務先	名称	勤務先	名称
賞金の支払	所在地	賞金の支払	所在地
	名称		名称

財産形成非課税 年金貯蓄 限度額変更・異動 申告書

税金署長 殿 年 月 日

フリガナ	※個人番号	届出印
氏名		
住所		

※限度額変更・廃止の場合は個人番号の記入は不要です。

次のおり申告します。

変更事項	変更前	変更後	異動年月日
最高限度額	万円 千円 0000円	万円 千円 0000円	
店舗		※欄	
勤務先	所在地 名称		
賞金の支払者	所在地 名称		

法人番号 700020100005

財産形成貯蓄の受入機関の営業所等 所在地 名称

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。

勤務先の長の印

年 月 日

変1教5/1 24.8

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください
 4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです